

但馬海岸のアカトンボ調べ

足立義弘

1982年10月10日、但馬むしの会の行事として但馬海岸（兵庫県の日本海側）のアカトンボ調査をおこなった。主な目的はタイリクアキアカネとオナガアカネの産生地があるかどうかを確認しようということであった。もちろん他のアカトンボの仲間についても調べることにした。

当日は6名の参加、天候は秋晴れのフィールド日和であった。8月1日と9月12日のアカトンボ調べを兼ねた行事が台風のせいでお流れになっていただけに参加者の意見込みはかなりのものであった。

調査は二班に分かれ、豊岡側からと浜坂側から始め、香住町の柴山港で落ち合うことにしていた。

この時期はどこへ行ってもアカネの天下であった。場所によってはかなりの頻度でコノシメトンボがいたり、少ないながらもマユタテアカネがいる所があった。しかし他のアカトンボについては稀に採集するか目撃しただけであった。そしてタイリクアキアカネとオナガアカネについては確認できなかった。どちらかというときみな暇つぶしに余念がなかったようで、直翅の名前調べをしたり、カストムシの幼虫を60匹以上掘り出した人もいた。

当初の目的は果たすことができなかった。しかし広い海と水平線が見えるパノラマの中で虫を追いかけて、弁当を食べるというささやかで、気分的には最もリッチな目的は果たしたようだった。

調査結果は次のとおり。

- | | |
|---------|---|
| 奥諸寄 | アキアカネ（多数）、ナツアカネ（1）。 |
| 芦屋（浜坂町） | アキアカネ（多数）、リスアカネ（1）、コノシメトンボ（1）。 |
| 宇都野神社 | アキアカネ（多数）、コノシメトンボ（1）、マイコアカネ（1）、ミヤマアカネ（目撃）、タカネトンボ（2）、オニヤンマ（1）、ミルンヤンマ（1）、オオアオイトトンボ（1）、キトンボ（目撃）。 |
| 久谷 | アキアカネ（多数）、ウスバキトンボ（1）。 |

絹巻神社

アキアカネ(多数)、キトンボ(1)、アジイトトンボ(1)。

泉ヶ浦

アキアカネ(多数)、コノシメトンボ(多数)、マユタテアカネ(1)、ウスバキトンボ(1)。

以上、トンボ科9種(アカネ類8種)、オニヤンマ科1種、ヤンマ科1種、エゾトンボ科1種、アオイトトンボ科1種、イトトンボ科2種。

小代溪谷にてカラスシジミを採集

吉富 章雄*

1982年7月6日、午前10時半頃、美方町小代溪谷にて、同行の山本勝氏がカラスシジミを採集したので、ここに発表する。

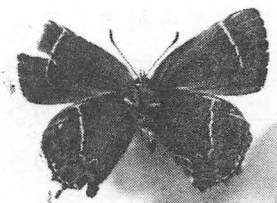
小代溪谷へは、島田真輔氏の“美方町の蝶”(IRATSUME 6: 25-29)を補足すべく、山本氏と共に訪れたのであるが、兵庫県では非常に記録が少なく、但馬地方での再発見が望まれていたカラスシジミを発見、採集した。

当日は曇り、ときどき小雨がぱらつく空もようであった。採集場所は、溪谷入口付近の工事資材置場の空地より少し上った橋の手前の矢田川右岸である。

前翅をやや欠いているものの鱗粉はそれほど落ちておらず、比較的新しい個体である。

近辺に発生地があると思われるので、食草と卵の発見が望まれる。また、当日やや下流のスーパーマーケット前で、カラスシジミらしき飛翔体を目撃しているのを付記しておく。なお、標本は山本氏が保管している。

<採集記録> カラスシジミ 1♀、美方町小代溪谷、1982.VII.6 山本勝採集



*現住所 〒351 朝霞市三原1-17-10 第2安住荘202号